

海外渡航者・教職員向け 危機管理セミナー

日時：平成29年8月4日（金）10：30～12：00

場所：香川大学 遠隔会議システムなど

内容：

10:30～10:34 センター長挨拶

- ・400人の留学生を受け入れ、100人の日本人学生を海外に派遣するという戦略。
- ・今日のセミナーは、その一貫の取り組み。安全、安心のために、今日のセミナーを留学に活かして、安全に元気な顔で帰国し報告して欲しい。

10:34～11:38 海外研修・留学生のための海外リスクマネジメント

○講師：J&Jヒューマンソリューションズ社 J&Jサポートプラザ 関口久仁子

○様々なリスク

- ・航空機事故、テロなどは発生の可能性は低い。

◇荷物

- ・**ロスト・バゲッジ**：乗り継ぎを伴う場合、かなりの確率で発生しうる。その日に手に届かないと困るもの、持病薬、連絡すべき電話番号、その日の着替え用下着（24時間ストアの無い国では必須）などは機内持ち込みの手荷物に。
- ・**機内持ち込みは23kg**が一般的。しっかりと峻別しないと23kgにまとめるのは難しい。

◇乗り継ぎの場合

- ・時間通りに到着しない可能性が高い。
- ・乗り継ぐべき便が故障や天候などで欠航することがある。

↓

その日に別の乗り継げる便があるか確認を。

自分で交渉をできるよう想定を。

◇忘れ物

- ・**海外では、忘れ物はまず戻ってこない**。スマホを置き忘れたら、戻ってこないと思っておいて。
→ 忘れ物をしない意識、備えを。

○避けることができるリスク、避けることができないリスク

◇避けることができるリスク

- ・交通事故：
渡航する国が右側通行か、左側通行か、確認・頭を切り替えて。
交通法規の違いも把握を 自転車は車道しかとれない、横断は横断歩道以外は罰金の国がある。
- ・スリ、ひったくり：

問題1 レストランで、リュックはどこに置きますか

①椅子の下

②足元

③お店のスタッフが勧めた場所

↑

正解は②ということだが、リュックには貴重品を入れないこと。

パスポートなど重要なものは身につける。

学校だから安全ということはない。学校の中でも盗難はある。

問題2 路上にて、バイクのひったくりに逢った！

- ①捕まえて警察に突き出す
- ②あきらめる
- ③頑張っって抵抗する

↑

正解は② あきらめてください
追っかけると、刺されたり銃で撃たれたりする。

「金を出せ」と言われたら金を出す。

パスポートが無くなっても再発行してくれる。お金と時間はかかるが、再発行してくれ、必ず帰国させられる。

けがをせずに帰国することが必須。

○パスポートとスマホ とられやすいのはどっち？

- ・パスポートを売るにはすごい組織の人にしか売れない。ICチップも入っており偽造が難しいので。
- ・しかし**スマホ**は転売可能で、ねらわれている。盗られたらあきらめてください。

↑

- ・大学4年生、コロンビアで携帯電話とタブレットを奪われたため犯人を追跡し、追いついたが銃で撃たれて死亡。
- ・写真撮影の時は軽くスマホを持つので、奪われやすい。
- ・スマホに連絡先など全てを入れていると、盗られたときに対処のしようがない。 → **必ず別の場所、3箇所にバックアップをしておく。**

○クレジットカード

- ・盗られた時にカードの使用を止められるようカード番号とカード会社の連絡先を記録しておく。

○ロンドン警察が制作した映像

- ・列車で、出口に近いところにいると、ドアの閉まり際に荷物をひったくられる。
- ・列車に乗るときには出口に近いところには立たない、席が空いていたら席につく。

○国別に気をつけること

- ・生水、生もの
- ・**軍事的施設、宗教的施設、国境近くでむやみな写真撮影**
入国審査所での撮影禁止は世界共通。撮影してしまうと、機材全てを取り上げられてしまう。
- ・交通法規
- ・**習慣の違いを確認**
18歳は成人です。大人とみられる。
レディーファーストの徹底を。重たい荷物を女性が持っていれば、手助けしてあげること。
ドアを閉めるときは、あとから来ている人のことを気にかける。
- ・狂犬病：**むやみやたらに動物にさわらない**。キャンパスにいるリスも病気を持っていたりする。

◇タイ：宗教心が強く、観光気分で写真を撮ることはしない。

◇東南アジア

- ・ **レンタル電動自転車**：バイクとして扱われ、事故を起こすと交通事故として扱われる。加害者になってしまった場合、保険の対象とならない。

◇アメリカ：**公共の場所での飲酒は禁止**。ビーチでの飲酒、花見での飲酒はアメリカでは禁止。喫煙が可能な場所も違う。

- ・ 銃社会：ここから先には行ってはいけないといわれているところにはいかない。
- ・ 飲酒可能年齢：州によって異なり、**違法な飲酒の罰則は厳格**

◇ニュージーランド

- ・ 入国時持ち込み制限：申告が必要であり、制限が厳しい。最終の判断は税関が行うので、申告していれば、ダメなものは取り上げられるだけ。**申告していない物を持っていけば違法となり罰金**。
- ・ **靴の泥を落とすこともチェックされる**。

◇ヨーロッパ

- ・ 偽警官：それらしい格好をして、バッジをちらりと見せて、パスポートを見せろ、荷物を見せろ、財布を見せろと、すきを狙ってお金を抜かれる。

◇カメルーン

- ・ 生もの、生水

○**外務省海外安全ホームページ**

- ・ 海外の状況の確認に。
- ・ **たびレジ**：登録しておく、渡航先の情報がメールされてくる。
- ・ **在留届**：3ヶ月以上滞在される場合

○盗難事故

- ・ スリ
- ・ 置き引き：写真を撮るために、物を地面に置くことも危険
- ・ (親しくなって) カードゲーム、睡眠薬

○感染症

- ・ 体調に異変を感じたら、現地スタッフに早めに相談する。
- ・ 保険に入っていれば、日本語が分かる現地相談窓口、日本語通訳サービスの窓口などを活用。
- ・ **アレルギー**：投薬や注射の際に**アレルギーを示せるように**。

○日本人は我慢、遠慮が強すぎ

- ・ 海外では、言わなければ「OK」と理解する。
- ・ **気になることがあれば言う**。

○携行品の事故

◇破損の場合

- ・破損品の写真を撮る。
- ・事故証明書の入手（警察、ホテルのマネージャーなど第三者）
- ・修理が可能な場合は、修理見積書の入手

◇盗難の場合

○映像 ロンドン警察 テロ対応 <https://www.youtube.com/watch?v=ZD0DH9eqPp0> (4分22秒)

RUN : おかしいと思ったら、まず逃げる

HIDE : 逃げきれないときは隠れる、携帯電話はサイレントモード、バイブも切る。

TELL : 身の安全が確保できた場合は警察に通報

○日本からの留学生は簡単・・・

- ・普通に、まちなかで声をかけてくる人にろくな人はいない。
- ・アイス、スピード、エクスタシー 麻薬を最初は「もらう」「だまされる」から、お金を持っているので狙われる。
- ・人からの荷物を預からない。

○10人に一人はメンタル不調

- ・メンタル不調は誰かに相談する。すぐに医師に相談を。
- ・同行している人は、いつもと違うと感じたら、声をかけてあげる。

○外国人から見た日本人女性

- ・ブランド品を持っている。
- ・小さくてかわいい。
- ・ファッションにお金がかかっている。
- ・言葉に弱みがある。
- ・控えめである（おとなしい）
- ・理由なき微笑み
- ・露出のある服は控えて、誘っていると思われる。
- ・声をかけられてついて行ったら「OK」と理解される。

○賠償事故

- ・スプリンクラーに洗濯物をかけて外出、スプリンクラーが作動。
- ・バスにお湯張り中に寝てしまって、浸水。
- ・スーツケースを倒して窓ガラスを割ってしまった。

↓

保険で対応可能。

11:38~11:43 質疑

女性①Q : オーストラリアの特徴は？

A : 食品の持ち込みが厳しい。南半球は紫外線対策を。

男性①C :

- ・オーストラリアの経験から。旅行に行く前に用意した方がいいのが、バッグの写真をいろいろな方向から撮った物を1枚にレイアウトし、鍵の部分の絵を入れておき、うらにバッグのサイズを拡大コピーして張っておくと、バゲッジクレームでの説明が短時間でできる。
- ・東南アジア フィリピンでは空港にカートがなくて、フィリピン人がカートを持っていて「載せましょうか」と、お金を取られる。トイレで肩を揉んできて「お金をちょうだい」。
- ・親切はなく、金に繋がることを肝に銘じて。
- ・予防接種：日本では予防接種が少なく、回数も少ない。どの予防接種を何回しているかを説明できるように。医者での説明に役立つ。

11:43~11:50 保険

○講師：関口

- ・香川大学生が留学する際には、当社の保険に入っている。
- ・渡航する先の現地ヘルプデスク（J i デスク）の確認を。
- ・トラブルが発生した場合、まずはJ i デスクに連絡、来店を。
- ・香川大学の包括契約 職員番号、学籍番号を伝えてもらう

—以上—